

料理で幸せを届け、食の魅
力を伝えていきたい――

長年にわたり割烹料理店
を営む一方、静岡県飲食業生
活衛生同業組合（以下、飲食
業組合）島田支部の支部長を
務める浅井さん。食を通して
人を幸せにしたいと、今年
4月から市役所やプラザお
おりで弁当販売を行うな
ど、飲食業組合の活動に力を
入れて取り組んでいます。

【人との出会いを大切に】

島田市内で店を開いて今年
で44年。地元食材を使った料
理を提供し、平成28年度に「ふ
じのくに食の都仕事人」にも
選ばれました。しかし当初は、
自分が始めた店ではなかった
と振り返ります。

「私は、愛知県岡崎市に生ま
れ、24歳の時に島田市で働き
始めました。初めは自身の店
を持つ気持ちはなく、色々な
店で職人として働こうと思つ
ていました。しかし、島田に
来て数年後、妻が店を持ちた
いと言つ

【食を通して地域と関わる】

「コロナ禍でもテイクアウト
で食事を楽しんでもらい
たいと考え、4月から飲食業
組合で弁当販売を行ってい

ます。きつかけは、昨年11月

に開催した『井まつり』。当日
は大行列ができ、予定よりも
早く完売しました。反響が大
きかったので、すぐに弁当販
売の実施を考えましたが、コ
ロナの影響で冬には開始でき
ません。きつかけは、昨年11月

に開催した『井まつり』。当日
は大行列ができ、予定よりも
早く完売しました。反響が大
きかったので、すぐに弁当販
売の実施を考えましたが、コ
ロナの影響で冬には開始でき
ません。きつかけは、昨年11月



静岡県飲食業生活衛生同業組合島田支部長
あさいまさひろ
浅井雅弘さん(本通六丁目)

【真心で笑顔を広げる】

これまでおまざまな活動を
通して、多くの笑顔を見つめ
てきた浅井さん。これからも、
組合員とともに積極的に地域
と関わり、食を通して真心を
伝えていきます。



プラザおおりで弁当
を販売する浅井さん(右)

Shimadajin File #116

Story

島田人

【真心で笑顔を広げる】

支部長としても、地域の活
性化を試みる浅井さん。その
発想は、仕事や日常生活か
ら得ていると言います。

「昨年、飲食業組合の冊子を
作成するため、市内の障害者支
援施設を取り材しました。飲食
業に憧れる利用者が大勢いる
ことを聞き、おいしい料理を
知つてもらおうと、後日組合か
ら弁当を振る舞うことにしま
した。私たちが作った弁当を
届けると、子どもたちは本当に
おいしそうに食べてくれまし
た。あの時に見た子どもたち
の笑顔は、一生忘れないと思い
ます。食べた人から笑顔があ
ふれるような料理を作り続け
たいと、本当に勇気付けられま
した。これからも、みんなと力
を合わせて前向きに取り組み
を続け、島田全域の飲食店が明
るく元気に営業することでき
ます。これまでおまざまな活動を
通して、多くの笑顔を見つめ
てきた浅井さん。これからも、
組合員とともに積極的に地域
と関わり、食を通して真心を
伝えていきます。